

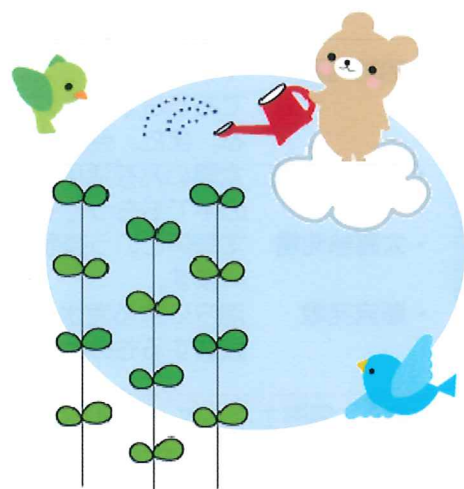
# くらしのすまいりんぐ

地球と人に優しい家づくり・くらしづくりの情報広場

2017年4月1日発行  
NO. 0034  
発行責任者：(株)文化舎東毛  
〒376-0101  
みどり市大間々町大間々1190-4  
☎0277-73-4850

## 今月の話

1. 今月の話題 ～スプリング・クリーニング～
2. 建築知識 ～冬の家の中の湿度～
3. 旬を食べる ～タケノコ～
4. 日本語の話 ～了解～
5. 二十四節気 ～清明～
6. 自然再生エネルギー ～環境にやさしいのは？～
7. 辛口コラム ～健全社会のシンボル、抗議集会～



## 今月の話題 ～スプリング・クリーニング～

年末は何かと忙しく、さらに寒いので大掃除が予定通りにすまなかった方、多いのではないのでしょうか。気温が上がり体を動かしやすい今、春の大掃除「スプリング・クリーニング」をしてみませんか？

入学や就職と新生活が始まる春に、衣替え、模様替え、お掃除をして気分よくスタートしましょう！

### ○適した掃除場所○

#### ① 水回り

気温、湿度が上がる前に、浴室などのカビを除去して増殖をおさえましょう  
除菌をすることで、夏のニオイ対策にもなります

#### ② 窓やサッシ、網戸、玄関まわり

黄砂や花粉のせいで、窓ガラスが汚れがちです  
ベランダは黄砂などが溜まる場所です。手すりなども水洗いしましょう

#### ③ エアコン

冬の間フル稼働していたエアコンを夏に使い始めるまでにお掃除を  
フィルターはもちろん、吹き出し口のルーバーも忘れずに

#### ④ クローゼットや押入れの中

衣替えなどでクローゼットの中のを移動させただけで、  
タンスの引き出しの中も、掃除機で吸引後、水拭きをしましょう



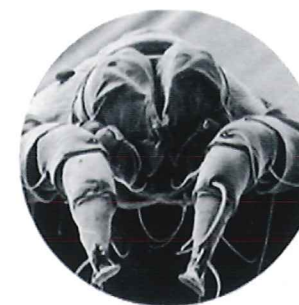
## 建築知識 ～冬の家の中の湿度～

マンションなどは勿論、通常の住宅の部屋を石油やガスのファンヒーターで暖房すると、その排気ガスから多量の水蒸気が出るので室内の湿度が上がります。その為に窓や押し入れに結露が生じたりしますし、もっと悪いのは家の中でダニが繁殖することです。なにぶんダニは湿度が60%を切ったら殆ど仮死状態と言われるほどですから。これだけ住宅の密閉性が高まってきた現代において、家の中に排気ガスを吐き出すタイプの石油・ガスファンヒーターはもう止めて、エアコンやFF型ストーブなどの排気ガスを出さないものにすべきです。

ところがエアコンのような排気ガスを出さないものを使っても窓に結露が生じたり、ダニの繁殖で幼児がアトピーや喘息になる例があります。これは殆ど換気不良によって生じます。排気ガスは出さなくても、家の中では一人が毎時50～100ccも水蒸気を放出します。屋外の冬の空気はパサパサに乾燥しているので少しづつ換気していれば室内も適度に乾燥しますが、換気装置

が装備されていない古いマンションも多いようです。最新の24時間換気を装備した家でも、調査してみると住人が換気装置のスイッチを切っていたり、給気口のシャッターを閉めている例が多く見られます。

世界保健機構 WHO が推奨する快適健康な湿度は0～60%、実際30%は決して不快な湿度ではありません。冬中家の中を40%以下にしておくとダニは激減し、しかも夏に増える度合いも激減するのです。適正な乾燥が健康に良いことを理解しましょう。



## 旬のものを食べる ～たけのこ～

タケノコは鮮度が命です。時間がたてばたつほどアクが強くなります。

皮つきのものが手に入った場合は、すぐに下茹でして冷蔵庫で保存しましょう。水を変えながら1週間ほど保存ができます。

### ☆おいしいタケノコの選び方☆

- 伸びすぎていなく、皮の色が薄いもの
- 根もと周りにある赤いぶつぶつが少ないもの
- 皮の部分がしっとりとして乾いていないもの
- 先端の部分が黄色いもの
- 孟宗竹の場合は、ずんぐりして、ずっしりと重いもの

### ☆あく抜きの方法☆

- ① 先端を斜めに切り落とし、あく抜き後に皮が剥きやすいように縦に身の手前まで切れ目を入れる
- ② 皮つきのまま、かぶるくらいの水と米ぬか、鷹の爪とともに鍋に入れる
- ③ 落し蓋をして、およそ40分～1時間くらい茹でる
- ④ 根元に竹串がすっと通るようになったら、火を止めてそのまま冷ます
- ⑤ 冷めたら鍋から取り出し、皮を剥き、さっと水洗いしてから冷水に浸す

先端は酢の物や和え物に、その下の穂先は炊き込みご飯に中央部分からは煮物、炒め物と使い分けてみてください☆



## 日本語の話 ～「了解」～

「目上に『了解』は失礼」というようなことを最近聞くようになりました。ビジネスマナーについて書かれた web サイトでは、はっきりと書かれたものもあります。

以下引用――『了解』は尊敬の意味が含まれていなく、上司の返信には使えません。「了解いたしました」という表現も間違いです。――引用終

<https://careerpark.jp/8¥731>

しかしちょっと調べてみると、根拠がはっきりしません。『了解』を目上に使ってはいけない理由を、尊敬の意味が含まれていないから、と説明していますが、尊敬の意味が含まれた単語だけで会話するなんてできませんね。でも web 上ではたくさんの関連ページで、上記のような説明がしてあり、『承知』を使うように結んでいるのが多いように感じました。

まず『了解』という単語を調べると、『分かる』の漢語表現となっていて、特に敬意はありません。そのため、そのまま目上に『了解』が使えないのはわかります。また「了解です」にも敬意がたりなく感じられるかもしれません。しかし、それは『承知』でも同じではないでしょうか。『承知』には謙譲のニュアンスはあるにしても、やはり尊敬語でも謙譲語でもないの、「承知です」にしても敬意は足りなく感じます。

結論から言うと「了解いたしました」であれば、「いたす」という謙譲語により『了解（＝分かる）』をへりくだる表現にするため、『了解』を使っても目上に対して失礼には当たらないと思います。

さらに調べていくと、『了解』が不適切というのはここ 10 年ぐらいに広まっていて、驚くべきことに、ある本に著者が”主観的”に書いたのが大元ではないかと主張している意見も見つかりました。要するにネット限定の俗説。しかし、それがマナー関連のサイトで量産されて定着してしまっただと。今回これを書くために改めて検索してみましたが、確かにきちんと文献を示した記事を見つけることはできませんでした。また、先の主張を裏付けるような資料もありました。

しかしながら、ここまで定着してしまうと、それは根拠のない俗説だとしても、使われる相手がそう思っているのであれば、結果として不愉快にさせてしまいます。

○ 現在『了解』を使ってスムーズなら、あえて変える必要はない

○ 社外（あまり知らない相手など）には使わないほうが無難（相手が「了解いたしました」は失礼な表現、と思っているかもしれないから）と思うのですが、いかがでしょうか。

了解してくださいましたか？（笑）

## 二十四節気 ～清明（せいめい）～



もともとは中国から伝わった二十四節気ですが、日本の四季の中で定着し、生活に根付いてきました。

春分の日から 15 日目ごろ、今年は 4 月 4 日が二十四節気の「清明」にあたります。

この頃から、天地がすがすがしく明るい空気に満ち、草木が生命力にあふれ、生き物が元気に動き回ると言われています。

北風にかわり春の暖かい空気を運んでくれる風のことを「清明風」といいます。

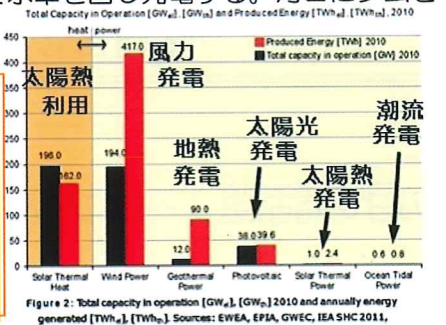
あわただしく過ぎていく毎日ですが、二十四節気やさらに細かい七十二候を意識すると、自然の移り変わりを以前より深く感じて新鮮に過ごせるかもしれません。

## 自然再生エネルギー ～環境にやさしいのは？～

地球環境が問題視されるようになり、自然再生エネルギーについて注目を集めるようになりました。その種類とは…？

- ・太陽熱利用 太陽の光ではなく、熱を活用したものであり、古くから活用されています。発電の原理は、太陽の熱エネルギーを専用装置に集めることで熱を生み出すことにあります。シンプルな原理で安価です。給湯や暖房に活用されます。
- ・風力発電 風の力を電力に変えるもので、発電コストが安いことが特徴的です。また、エネルギー変換効率も比較的高い。
- ・地熱発電 マグマが持つ膨大なエネルギーの一部を蒸気という形で取り出して利用するため、火山帯である日本列島に有利な再生可能エネルギーで、昼も夜も安定的な発電が長期間期待できる。また、発電時に発生する高温の蒸気や温水は、暖房や農業にも再活用できる。
- ・太陽光発電 太陽の光を活用するため、様々な場所に装置を設置することができ、再生可能エネルギーの中でももっとも導入が容易。
- ・太陽熱発電 太陽炉という装置を使って太陽の熱を 1ヶ所に集め、それを「汽力発電」の熱源として使います。
- ・潮流発電 潮汐による海水の定期的な移動である潮流を利用して水車を回し発電する。河口にダムを設置するものと海水の潮汐流を利用するものがある。

※IEA（国際エネルギー機関。OECD 関連シンクタンクで、各国に政策提言などする。）の SHC 部会は 2011 年のレポートで、世界の再生エネルギーに関し「世界のエネルギー需要に対する太陽熱の貢献度は、伝統的な水力やバイオを除けば風力に続く 2 番目であり、太陽光発電よりも遥かに大きな貢献をしている。」と、各国政府に太陽熱利用に対する更なる策を促進しています。



## 辛口コラム ～健全社会のシンボル、抗議集会～

九州の佐賀、広大な敷地にある県立の大型研修施設へ家づくり勉強会の講師に時々行くのですが、今回はいつもと様子が違いました。近づくにつれ機動隊らしき大勢の警官が道路脇に並び、交通規制で道路も渋滞気味、物々しい雰囲気です。実は広場で原発再稼働反対集会があり、ごく普通のサラリーマンや奥さんたちが参加していました。私もそうですが再稼働に反対するのはごく普通の人々で、チェルノブイリと並んで世界を揺るがす大原発事故を起こしながら未だ収束の道筋も見えない国の国民としては、当たり前と言えるほどの行動です。それに対し、機動隊を投入して何を抑え込もうというのでしょうか。集会に参加した人たちが国の転覆を図って暴動を起こすのでしょうか。

世界の民主主義国家では、トランプ反対、EU 離脱反対、難民救済反対と多種多様な集会やデモが大通りを占拠しますが、それはそれで健全な社

会のシンボルです。デモ行進が歩道を歩かされたり、大通りで信号待ちをするなどとてもないことで、こうして機動隊が抑えつける風景は日本と中国とかでしか見られない姿です。同様な過剰警備は皇族の通過でも見られ、街の交通が何時間も前から麻痺されるのですが、若者たちと一緒にグラウンドで駆けっこをするキャサリン妃とウィリアム王子の映像を見たりすると「日本の社会、ちょっとおかしいよ」と思わざるを得ません。

